



学校入口の会場案内

防災
NOW

イザという時に備え... 備えあれば..... 避難行動を体験する訓練 多彩に！

安全部

今回は奈良大宮ロータリークラブの主催で、共催団体との周到な準備や運営打ち合わせの末、「見る・体験する」実践的な訓練ができました。ロータリークラブの皆さんはもとより、関係者のご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。（大宮地区自治協議会長 吉岡正志、安全部長 奥田勝己）



災害義援金
ご協力御礼
＜能登半島地震＞
6,646 円
＜能登半島豪雨＞
8,163 円
合計 14,809 円
日赤奈良県支部
へ納めました。
（福祉部）



贈呈式で挨拶される仲川市長



レスキューキッチン



やってきた水陸両用車(日本に 6 台)・運搬車



飛び立つドローン



北 消防長(左)が「今日は、災害時に役立つ訓練が実施できた。昨今は、火災も増えているので、火の用心も大切」と訓練後に挨拶されました。



QR コードを活用した避難者登録 (スタッフが補助)



安全確認後、体育館へ



女性消防団のリードで「なでしこ体操」



AED 訓練



子どもたちも AED 訓練



大宮通り・新ホテル交流拠点事業にぎわいの“まちづくり”へ

県との包括連携協力協定にもとづき、コンベンションセンター・ホテル事業者・NHK などによる協議の場「タマサキ」外協議会を定期的に開催しています。

施設運営に係る周辺環境の整備やイベントによる地域の魅力向上への取組を進め、「同協議会」の開催(写真下)は、すでに 25 回を数えました。（自治環境部）



↑ 起震車による地震体験



☞ 家族連れで震度 7 を体感



的が倒れて、火が消えたよ！
（子どもたちの水消火訓練）



↑ はしご車の地上 35m への乗車体験には、長い行列ができました。予約以外の飛び入り参加者は待ち時間 2 時間を超え、時間延長していただきました。
←ロータリークラブの皆さんによる炊き出しの試食コーナーも順番待ちが出ました。豚汁を 300 食用意されましたが、“美味しい”との評判で品切れ状態に。

第 33 回「大宮まつり」の骨組み決まる

8 月 9 日(土)前夜祭・10 日(日)本番

第 33 回「大宮まつり」2 回目の実行委員会を 3 月 1 日(土)に開催。

❖戻ってきたくなる まつり

❖地域のつながりづくり——をコンセプトに、なら 100 年会館で 2 日間に及び開催を決めました。

前夜祭は、キャンドルナイトに加え夜店を設け、中ホールで音楽主体の「おおみやステージ」。本番では、大ホールで人気のアニメ上映、模擬店、キッチンカー、中ホールでダンス主体のステージなどを予定しています。

また、「大宮まつり」を持続可能なものにしていくために、自治会や事業所など多くの方から協賛金をお願いすることにしました。ご理解ご支援により楽しい出会いのある催しにしたいと存じます。（大宮まつり実行委員会）

前回の前夜祭 キャンドルナイト



知っ得と安心！ 防犯講座

…手口を知り、身と財産を守る…

特殊詐欺被害防止の防犯落語と強盗被害から身を守るための講座を、3 月 2 日(日)、若草亭「菊丸」氏(市危機管理課)を講師に迎え、三笠公民館と共催しました。

近年、全国的に空き巣や強盗等の凶悪犯罪が増えています。どんな手口や事例があるのか、それに対しどんな対策を講じたらよいのかを一緒に考える機会になりました。

講師は『もはや、わが国も“安全と水はタダ”ではない。心にも家にもカギをかけよう』と、訴えられました。誰もが、犯罪被害に遭う可能性もあり他人事にはできません。（安全部）

巧みな会話に引き込まれました



住みやすい、住み続けたい大宮めざし
2025 年度大宮地区自治活動計画 策定中
自治協議会では第 3 次大宮自治活動計画の 2 年目を前に、執行計画と予算の設定を協議しています。昨年に大宮地区社会福祉協議会が再生されたのを受け、次年度からは、自治連合会・防災防犯協議会・民生児童委員協議会との主要な 4 団体を中心となり、足並みを揃えて行動していくこととなります。
自治協議会では、住民アンケートから抽出した三つのビジョン①みんなで作る安全安心なまち、②子育てと教育のまち、③住み続けたい健康で明るいまちを実現するために、活動分野別に 5 部会と 2 会議を設け、構成団体の特徴を生かして、連携しながら活動します。（総務部）
心ひとつに、みんなで演奏(活動)しよう

